



令和3年度幼稚園の人材確保支援事業

(公財)広島県私立幼稚園連盟

めざす姿

必要な教員が確保され、人材の定着により経験が深まることによる質の高い教育・保育サービスの提供

今年度の取組

平成29年度から4年間、文部科学省の委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」の採択を受け、マッチング体制の構築、幼稚園等の魅力を発信するイベント（幼稚園・認定こども園ナビゲーション）の開催、離職者への再就職に向けた情報提供を実施するとともに、現任教諭・養成校の学生に対して働き方に関する調査を実施してきた。これらの取組で明らかとなった課題や新たな課題に対応するため、令和3年度は、継続事業の充実を図るとともに、広島県教育委員会との連携により、発達障害等気になる園児への対応を支援した。これらの取組を実施することにより、幼稚園教諭の離職防止・定着促進を図り、幼稚園等の人材確保に寄与した。

主な実績

離職防止・定着促進 (発達障害等気になる園児への対応)

発達障害関係研修会の開催

- 研修会 1回2時間（オンライン開催）
- 研修テーマ 発達障害等気になる園児への支援を学ぶ「保護者の支援と連携」
- 参加者 134人

県立特別支援学校との連携支援

連携特別支援学校 8校
 相談実施状況 30園55日
 幼児教育アドバイザー同行数 7日

事業実施による成果及び課題

- 相談主任等からの指導・助言により、教諭、保護者、組織、園児のいずれにおいても変容があったと推測され、ほぼ全ての園が今後もこの制度の活用を希望しており、各園の実情に応じた指導・助言等が幼児教育の質の向上に大きく寄与していることが窺えた。
- 研修会も同様であり、これらの事業は今後も継続していくことが必要である。

新規採用の促進・離職者の再就職促進

YNナビの開催

オンラインナビの実施

区分	参加園（実績）	参加者（実績）
1回	40園	117人
2回	35園	30人

事業実施による成果及び課題

- コロナ禍で対面式YNナビは中止。
- オンラインによるYNナビは初。
- 次年度は3年度の実績を上回ることが目標。
- 参加園、来場者ともに目標未達成
 ⇒ 養成校を通じて広報は行ったが、事前登録が必要なことから、対面式ほど参加者は増えなかった。
- 参加者増を図るため、インスタグラムを立ち上げたが、早い時期からの取組をする必要があった。
- 参加者をいかに増やすかは大きな課題。
- 広島県教育委員会を通じて県立高校に広報
 ⇒ 高校生の参加あり
 ⇒ 幼稚園の魅力発信につながる。

無料職業紹介事業の実施

登録・マッチング状況（3月末現在）（件）

マッチング	求人	求職	紹介
1	50	573	79

就職アドバイザー等による支援（月2回）

- 求人側 20件 ○ 求職側 290件
- 園訪問による支援 4園

就職アドバイザー支援による成果及び課題

- 新規登録者に電話で現在の状況と意向確認を行うことで紹介件数は年々増加。
- 園訪問のメリットは、園の雰囲気や特色、環境、先生方の様子などを観察した上で、アドバイスが行えるため、園が求めている情報を的確に伝えることができる点。
- 求職者に積極的にアプローチし、マッチングを増加させることが大きな課題。

求人・求職システムの改善

- 求人・求職システムの活用は浸透しつつあり、利用者、管理者双方にとって活用しやすいシステムとなるよう改善を加えながら広報し、定着を図っていくこととする。

今後に向けて

年々増加傾向にある気になる園児への対応の習得は、保育者の不安・負担軽減には少なからずつながっているものと考えられる。今後も引き続き、事業を継続していくことが求められる。新規採用促進・離職者の再就職促進に向けた取組は、それぞれの立場に合ったきめ細かな支援が必要である。コロナ禍で実施できなかった事業を、今後はコロナ禍でも実施できるよう検討し、就職につなげていく必要がある。「わーくけんよう」の登録も順調に増加しており、就職・定着促進につながるよう今後ともきめ細かな支援に努めていく必要がある。